カトレア

vol.22
2011.7.20

冬木学園の今日と明日を語る広報誌

学校法人 冬木学園
畿央大学
関西中央高等学校
畿央大学付属幼稚園

■ 特集
いのちと向き合う
理事長に聞く「いのち」に感じること
教養科目「生命倫理」の必修化に向けて
助産学専攻科誕生に寄せる思い
いのちの果て　死生観を育む
震災から学ぶこと
■ シリーズ　VOICE
■ シリーズ　私の先生・私の教え子

編集後記

生のオーケストラに触れていただく音楽会「オーケストラがやってくる　橿原交響楽団ファミリーコンサートin畿央大学」を6月20日（日）に開催しました。ホール企画初めてのコンサートに、近隣のお子様と保護者約530名の方々が参加。最後に観客全員で手拍子をとってオーケストラと共演する様子を見て、準備の苦労も吹き飛びました。8月28日（日）には〝歌う尼さん〟やなせななさんをお招きして「やまとフォーラム」を開催します。今後も地域の皆様に喜んでいただけるイベントを企画して参ります。（M）

第3回やまとフォーラム
―教育・文化・健康 ―を開催します。

やなせなな

学校法人冬木学園は地域の文化交流の要となり、その発展に貢献することをめざしています。 このフォーラムでは、畿央大学をはじめ冬木学園各校の教員とともに、地域の実社会で活躍されている方たちを講師にお招きして15の講座を開講いたします。基調ライブを含めてお一人様3講座にご参加いただけます。
もちろん、参加費は無料です。

2011（平成23）年8月28日㈰

受付／ 12:30 ～（開会 13:00）会場／畿央大学

プログラム
- ご挨拶　13:00 ～ 13:20
- 基調ライブ　13:20 ～ 14:20
  シンガーソングライター　やなせなな
  コンサート＆トーク
- 公開講座Ⅰ限目　14:40 ～ 15:40
- 公開講座Ⅱ限目　16:00 ～ 17:00

※ Ⅰ限目に7講座、Ⅱ限目に7講座を開講します。
Ⅰ限目から、Ⅱ限目からの参加もできます。
（各講座の詳細はホームページをご覧ください。）

■お申込み方法
畿央大学ホームページのイベント情報「第3回やまとフォーラム」申し込みフォーム、もしくはハガキ、ＦＡＸで、全員の方の①お名前（フリガナ）②年齢、③受講講座番号（基調ライブを含め3つまで）、代表者の④ご住所、⑤電話番号、⑥E-mailを明記の上、お申込みください。

■申し込み先
〒635-0832　北葛城郡広陵町馬見中4-2-2　冬木学園企画部　やまとフォーラム係
FAX：0745-54-1600　E-mail：moushikomi@kio.ac.jp

カトレア vol.22 2011.7.20
冬木学園の今日と明日を語る広報誌

学校法人 冬木学園　http://www.kio.ac.jp/fuyuki/

畿央大学	〒635-0832 奈良県北葛城郡広陵町馬見中 4-2-2	TEL 0745-54-1601
関西中央高等学校	〒633-0091 奈良県桜井市桜井 502	TEL 0744-43-1001
畿央大学付属幼稚園	〒633-0004 奈良県桜井市朝倉台西 5 丁目 1093-321	TEL 0744-45-0151

卒業生のみなさんの最新の情報をお知らせ下さい
お名前・ご住所・電話番号・勤務先に変更が生じましたら、同窓会事務局までご連絡下さい。常に最新の情報をお知らせ下さいますようご協力をお願いいたします。
Tel：0745-54-1601　Fax：0745-54-1600
メール：kikaku@kio.ac.jp

理事長に聞く

「いのち」に感じること

冬木学園理事長
冬木 智子

赤ちゃんの第一声が大きな感動と喜びを与える

畿央大学は、健康と教育に関わる学びを通して、命に向き合える人材を養成してきました。その流れの中、来年は助産学専攻科を開設します。そこで今回は、「いのち」についてお話したいと思います。

「生命」は「命が生まれる」と書きますが、「おぎゃぁ」という赤ちゃんの第一声を聞いた瞬間、母親が得る感動はたとえようがありません。もちろん、周囲の人々も同じです。生まれ出た命は、多くの人に大きな感動を与えるものなのです。

しかし最近は、その尊い命を無駄に捨てたり、傷つけたりして粗末にする人が多いようですね。それは、命に対する畏敬の念が薄れているからではないでしょうか。そういう方には「生んでくれた親がいるから、今、自分がここに存在する」という感謝の気持ちと命に対する責任感を持ち続け、出産を経験した人は「生まれてくれたから大きな感動を味わえた」という気持ちを忘れないでほしいと思います。それが、命を畏れ敬う心につながるのだと思います。

四季の移り変わりが人を育み、成長させる

大切な命を生かすためには、情操教育は重要だと考えています。そう思うようになったのは、湯川秀樹さんのノーベル賞受賞を報道した新聞記事がきっかけでした。

記事の見出しには「物理にも情操が大事である」と書かれていました。湯川さんはおじい様から、漢詩を何度も素読するよう言われ、実践していたそうです。理論的な科学者でも、やはり心根は生きている命。豊かな感性を持っていたからこそ、新しい発見ができたのではないでしょうか。

「年年歳歳花相似たり、歳歳年年人同じからず」という諺があります。これは、毎年同じように咲く花に対して、人は毎年変化するという意味。この諺が表すとおり、命は季節の移り変わりに準じて成長するものだと思っています。ですから、四季の変化に感動する豊かな心を養うことは大切ですし、それを助長するのは教育の役割だと思っています。

生まれてきた命を輝かせる「徳・知・美」の建学の精神

本学は、建学の精神に「徳をのばす」「知をみがく」「美をつくる」を掲げていますが、これらに込めているのは、命を生かしてほしいという願いです。

「徳孤ならず、必ず隣あり」という諺があります。人の気持ちが分かる人は、必ず人が助けてくれるという意味です。人は一人では生きていけませんから、人や命を敬う心は大切です。私はその心を世界に伸ばしたいと考え、「徳をのばす」としています。

「金剛石も磨かずば、玉の光も出でざらん」という諺は、建学の精神「知をみがく」に似ています。どんなにいい本も、一度読むだけでは理解できません。何度も読んで初めて身に付くものです。研究も、何度も繰り返して初めて、社会貢献できる発見が得られます。成功するためには、石を磨くように粘り強く繰り返すことが大切なのです。

そして、いつも思うのは「美しいものを生み出すのは楽しい」ということです。もちろん、五感に訴えるような美を生み出すには数々の試練を乗り越なければなりません。しかしその過程が、命を輝かせるのではないでしょうか。

人から得た愛情や喜びが命を生かす原動力になる

建学の精神を体現する人材養成の第一歩として、畿央大学では入学後に宿泊研修を行い、感想文を提出してもらっています。それを読むと、学生たちは色々な思いを抱えて入学したことが分かります。幼い頃、両親や祖父母に可愛がってもらった学生は、人に喜ばれる看護師になりたいと書いていました。また、先生にしてもらったことを今度は自分が生徒にしてあげたいという学生、スポーツで痛めた足を治してもらった喜びを原動力に、理学療法士をめざす学生もいました。一人ひとりが持つ命を生かせる学科がこれだけあってよかったと思います。

もちろん、夢を叶える道のりは決して平坦ではありませんが、せっかくここまで生きてきたのだから、社会にしっかり還元し、悔いのない人生を送ってほしいと思います。なぜなら、命は生まれ、成長し、必ず終わるものだからです。

尽きてもなお、次世代を育む尊い命

私は今でも父の遺言を鮮明に覚えています。当時父は入院しており、私は毎日、病院に通っていました。ある日父は、「今日限り、声が出ないと思うから、今から言うことをよく聞いてほしい」と言いました。

その頃私は、正式な資格取得が可能な短大や大学を作るには、まずは高等学校を作る必要があると考え、桜井女子高等学校を創立したところでした。その学校が見える場所に埋めてほしい、というのが父の遺言でした。冬木家は代々、菩提寺に埋葬しているにもかかわらず、父がそう願っていることを知り、「ずっと応援してくれていたのだ」とありがたく思いました。

卒業式の予行演習中、病院からの連絡を受け、親族とともに父の最期を看取りました。卒業式には、遺骨を抱いて出席したことを覚えています。

命に対する畏敬の念が人生の道標になる

父は最期に「お前はとてもよくしてくれた、満足している」と言ってくれました。人生を感謝で終えられたのは、とても幸せなことだと思います。

卒業後、医療関係に就く学生は、患者さんの最期を看取る機会があるかと思います。人の命ははかなく、肉体も精神も寿命に打ち勝つことはできません。ですから最期は患者さんが、「ありがとう」と感謝できるような看護をめざしてほしいと思います。

そんな願いを持つようになったのは、父の遺言のおかげかもしれません。そう考えると、命は尽きても思いは次世代へ脈々と受け継がれ、見えない糸でつながっていると感じます。ですから、自身の命を終えることを悲しまなくてもいいし、心配しなくてもいい。私は最期に「あとはよろしく」と、次世代に託そうと思っています。

そして学生には、命に対する畏敬の念と「自分の命は与えられたものであり、生かされている」ということを忘れないでほしいと思います。そうすれば、どう生きるべきかが、分かるのではないでしょうか。

特集 いのちと向き合う

大自然の脅威を前にして、いのちのはかなさと愛おしさをひとしお感じる今日この頃です。冬木学園ではいのちを尊び、ひととして豊かに生きるための教育をめざしてきましたが、改めて「いのちと向き合う」意味を考えてみたいと思います。畿央大学では2012年4月に、いのちの誕生を支える助産師の専攻科を開設します。この特集をきっかけとして、これからもいのちと向き合う意味を問い続けていきたいものです。

理事長に聞く ──「いのち」に感じること P.2
冬木学園理事長　冬木 智子

教養科目「生命倫理」の必修化に向けて P.4
健康科学部長 教授　金子　章道

助産学専攻科誕生に寄せる思い P.6
―生まれいずるいのちに寄せて―
助産学専攻科設置準備室　教授 宮田 英子

いのちの果て　死生観を育む P.8
健康科学部看護医療学科　教授 河野 由美

震災から学ぶこと
自然環境といのちの問題 P.10
非常勤講師、理学博士 小山 彰

教養科目「生命倫理」の必修化に向けて

畿央大学では社会に出てすぐに役立つ実学を教育することを大きな目標にしています。学生たちも早く一人前になりたい気持ちで勉学に励んでいますし、それが大きなモチベーションになっています。また、カリキュラムもその方向を意識して編成されています。

一方、建学の精神、「徳をのばす、知をみがく、美をつくる」はまさに教養豊かな人間の育成を目標としたものです。時間と労力の制約の中でこの両者をどのように両立させていくかは大きな課題であり、難しい要求です。昨年度以来、教養教育専門部会はこの難題に取り組んできましたが、一つの結論として「生命倫理」を平成24年度から全学必修科目として実施することが決まりました。

「いのち」に感謝する

健康科学部理学療法学科の卒業生は理学療法士として、看護医療学科の卒業生は看護師として医療現場で患者さん方と直に接することになりますし、健康栄養学科の卒業生も管理栄養士として病院や給食施設で多くの人たちが口にする食に関わることになります。環境デザイン学科の卒業生たちも人間の生活環境に関わる仕事に就くことが多くあります。また、教育学部の卒業生たちは教員として子供たちを指導者する立場に立つことになります。いずれの職種も「いのち」と向き合う仕事であり、いのちの尊さの認識が無ければその職務を全うすることはできません。

いのちの尊さとはなんでしょうか。人間だけでなく、すべての生物の個体において「生きること」は一度しかありません。繰り返しは不可能です。それが他の力によって奪われてはならないということでありましょう。単に生命を維持して「生きていく」だけでなく、我が国の憲法は人間が幸せに生きていくことを保証しています。虐待防止、動植物の愛護という精神もここにあります。しかし、ここにも矛盾があります。植物は太陽エネルギーを貰って「生きていく」ことが出来ますが、動物は植物や他の動物を食べなければ生きて行けないのです。食物連鎖といわれるものです。人間はこの事実を深く理解し、犠牲になる「いのち」に感謝しつつ生活しなければなりません。食前の「いただきます」という挨拶は「いのち」を提供してくれた動植物への感謝の気持ちの表れでなければなりません。こうしたことを深く認識させることは医療や教育に携わる人間を育てる上でたいへん重要なことです。

「生命倫理」を学ぶ目的

これまで、「生命倫理」は看護医療学科では2回生配当の必修科目、理学療法学科では3回生配当の選択科目として行われてきました。その目的は

(1)基本的な医療倫理の原則を理解させること、

(2)生命科学ならびに生命倫理の基本的な知識を身につけさせること、

(3)生命の尊さを認識し、生命誕生と死に関わる倫理的問題を理解させること、

であり、そのための内容として、序論に続いて、インフォームドコンセント、臨床研究の倫理、生命誕生と生殖の倫理、認知症における倫理的課題、ライフイノベーションと医療倫理、遺伝子診断、遺伝子治療、再生医学とクローン技術、臓器移植、医療経済効率と生命の聖域、ガラパゴス化する医療環境、死に関連する倫理的課題、ケアの倫理などが取り上げられてきました。

今回「生命倫理」を全学必修とするにあたり、教育学部においては臨床現場に深く関連する項目(インフォームドコンセント、臨床研究の倫理など)は省き、逆に学校教育における生命倫理、動物愛護、児童虐待、自殺などの項目を加える予定です。「生命倫理」を学ばせることによって、学生たちが人間の尊厳について考究し、倫理的課題の基礎的知識を修得するとともに、それらの課題への対処能力を養い、医療者・教員として知っておくべき生命倫理の諸問題ならびに生命科学の基本的課題に深い関心を持つようになることを願っています。

畿央大学健康科学部長
教授
金子　章道

助産学専攻科誕生に寄せる思い

—生まれいずるいのちに寄せて—

畿央大学助産学専攻科
設置準備室　教授
宮田 英子

畿央大学看護医療学科完成年度を迎え、助産学専攻科設置準備に関わられた大学関係者の皆様は、大きな期待を寄せておられることと思います。私は、この4月から助産学専攻科設置準備室員として着任いたしました。分娩実習計画など難題が多く、まさに専攻科誕生に産みの苦しみを味わっているところです。

今回、いのちと向き合う助産師の役割、助産師学生が実習で遭遇するいのちの大切さと厳しさについて考えてみました。

助産師とは

助産師は広義では、「性と生殖に関わる専門職」です。胎児期から老年期にいたるライフステージの女性や家族を対象として助産を実施します。狭義では、「お産に付き添い、赤ちゃんを取り上げるという仕事〈分娩介助〉」です。その出産をより安全に母と子のいのちの保障をするために妊娠中あるいは妊娠前から女性の健康生活のセルフケア能力を高める保健相談に多くの時間を費やします。たとえば、十代の若者に対しては健康の維持増進と性に関する健康教育、妊娠後は、いのちを育む女性のそばでいつも寄り添い、異常の早期発見を行う健康診査や妊娠期を快適に過ごすための保健相談を実施します。助産師はこのような出産準備教育を充分行い、母と子のいのちを守る使命を果たしてこそ、感動と喜びあふれる生命誕生の場を迎えることができるのです。

助産学実習

助産学実習で、学生1人が分娩介助実習を10例程度取り扱うという基準をクリアするのは、大変なことです。学生は、陣痛が開始した産婦さんを受け持って、現在の状態や分娩時刻を予測した助産診断を行います。18時間から20時間ぐらい昼夜を問わず助産ケアの実習を続けるのです。そして無事、赤ちゃんが生まれた後、2時間後までお母さんと赤ちゃんに寄り添います。母と子のいのちを守り、寄り添うという助産師としての責務を学ぶ助産学実習は、厳しく、真剣なものです。

妊娠期実習においても、学生は母子の生命の安全を常に意識することが必要です。正常妊娠経過であるのか、異常への逸脱がないのか、妊婦さんの心理状態など助産診断を行います。妊娠中、喜びと不安が入り混じる妊婦さんの心理は、微妙で変化が激しいものです。体形の変化によるアンチボディイメージ、仕事で思うように動けない、夫や家族との関係、胎児が無事育っているのかなど妊娠をストレスとして感じることもあります。超音波診断学の進歩により、妊娠初期より、わが子の姿を確認できる現代の母親は、赤ちゃんが夫に似ているとか手足が長いとか映像を通して親となる意識を高めます。学生は、実習において、このような妊婦さんの思いをよく聴き、共感することが大切です。

いのちを守る

胎児の生存を最も自覚できるのが胎動です。初めて胎動を感じる頃はピクピクッとした感触ですが妊娠9か月を過ぎますと足底で蹴られて痛いとか、自分の体であって自分でない生命体を日々感じる不思議な気持ちになります。

妊娠は生理的で病気ではないとよく言われますがいつどんな異常が起こるのかわからないことも事実です。正常と異常は紙一重です。ですから医師や助産師は、異常の早期発見に努力し、異常への逸脱を予防し、正常経過を保ちながらいつでも異常への対処ができる体制と準備をすることがいのちを守ることにつながるわけです。

わが国の母子保健水準は、世界トップレベルです。分娩で命を落とすことなど、今や絶対ないと考えている方が多いですが、平成20年の妊産婦死亡数は39人で貴重ないのちが失われています。いのちは感動であり、力強いものですが、はかなく突然失われるものでもあります。

いのちが突然失われた悲しいケースをご紹介します。妊婦健診が行なわれている産科外来で突然、女性の悲鳴と泣き声が聞こえました。入院棟へと車椅子で走り抜けた妊婦さんの嘆きの声は、妊婦健診で胎内死亡と診断された方でした。その後、臨床心理士によるカウンセリングを数年受けられました。やがて職場復帰をされて、数年後に元気な赤ちゃんを無事出産されました。女性が乗り越えられた誕生死(生まれたけれど亡くなったいのち)と次の出産(新しいいのち)にそっと寄り添う助産師の姿があったことを嬉しく思いました。

助産師は、ケアの対象者の人格を尊重し、思いやりをもっていつも優しく、接することが大切です。同時に医師に対応できる助産学の深い知識と臨時応急の手当てなど助産診断技術能力を身につけて、母と子のいのちを守ることができる力を身につけておくことが最も重要課題です。

最後に

いのちに関わる助産学実習は、緊張の連続です。しかし、いのちの尊さと不思議さ、胎児と赤ちゃんの可愛さ、妊産婦さんへの愛おしさがあふれる楽しい実習です。助産師をめざす学生さん、是非チャレンジして下さい。

いのちの果て 死生観を育む

死を看取る場所の変化

現代では病院で最期をむかえる方が約8割で、自宅で最期を迎える方は1割程度とされています。しかし、自宅と病院での死亡割合が逆転したのは1977年で、それまでは現代とは反対に圧倒的に自宅で最期を過ごす人が多かったのです。また、現代では平均寿命も延び、多くの人が長寿を享受できるようになりました。死は病院といった特殊な空間に隔離され、一般の人には意識されないようになっています。一方で、多くの人が病院で死をむかえている現代において、看護師は患者さんの死を避けては通れません。しかし、今の若い方は自宅でご家族を看取った経験が乏しく、死とは如何なるものか、実感として理解できることが少ないのが現状です。看護師の中には、終末期の患者さんに接した時、どのように対応して良いのかわからず、死に対する過度の恐怖から心理的防衛が働き、思考力の低下や、無意識のうちに患者さんに対して無関心になってしまう場合もあると聞きます。そうした場合、患者さんやご家族に対して良いケアが提供できないのは想像に難くありません。

私は現在、「終末期ケア論」という科目を担当させて頂いております。終末期とは概ね余命6カ月以内の時期を言います。近年、看護教育の中で終末期ケアの重要性が認識され、終末期に関する科目は多くの看護系大学で開講されています。日常において死を学ぶ経験が乏しくなっている現代において、終末期の患者さん・ご家族により良いケアを提供するためにも、医療者はしっかりと死について学ぶ必要があるのだと思います。

デス・エデュケーション(Death education)：死への準備教育

また、死について学ぶことをデス・エデュケーションと言い、近年、医療系の大学に限らず、いのち教育として、大きな関心が寄せられています。死を前提とした有限の生だからこそ、今の一瞬、一瞬が尊く愛しいものであり、死を考えることを通して、いのちの大切さや尊さに気づくことができるとの考えが根底にあります。また「生死一如」という言葉があるように、生と死は表裏一体で、死を通して生きるとは何か・いのちについて考えることができるのだと思います。死に関して学ぶ経験が希薄化している現代だからこそ、医療者だけでなく、一般の人においても、より良く生きるためにも死について学ぶことが必要なのかもしれません。

古来より死は不浄なものとして忌み嫌われていました。また、近代において死はタブー視され、死について考えることさえ避けられてきました。人は知らない・わからない事には不安がより強くなります。死とは何か、死についての無知は不安や恐怖を助長します。死に対する恐怖は人間なら誰しもが本能的にもっていますが、医療者の強すぎる死の不安は終末期の人へのケアに悪影響を及ぼしてしまうことが指摘されています。強すぎる死の不安を軽減させ、終末期の人への適切なケアができるようにすることが、医療者へデス・エデュケーションを実施する目的の一つでもあります。

死生観を育む

現代ではメディアを通して世界各国でおきている事件を瞬時に知ることができ、見知らぬ他者の死(三人称)の情報はあふれています。しかし、身近な他者(二人称)の死や、自身(一人称)の死について考えることは少なくなっています。私は「終末期ケア論」の講義の中で学生に、一人称・二人称・三人称の死について具体的に考えてもらうようにしています。大切な人を亡くすこと、別れはとても辛く悲しいことで、想像するのすら避けたいことです。ですが、まさに終末期の患者さんやご家族はその辛い悲しみの渦の中にいるわけです。死の近い人の心理を理解するのはそう簡単な事ではないと思いますが、自分もいずれ死すべき運命にあることの自覚、有限性の自覚から、大切な人と別れる辛さ・悲しさ、遺り残したことがある悔しさが理解でき、患者さん・ご家族の悲しみ・苦しみに共感でき、気持ちに寄り添える看護ができるのだと思います。

いずれは私達自身も死を迎え、自分の大切な人も死を迎える、大切な人と別れなければならない時期が必ずくるのです。限られた時間だからこそ、今、この瞬間、ともにいることのできる時間が愛おしく大切にしたいと思うのではないでしょうか。そうした気持ちを理解するためには、三人称の死ではなく、一人称や二人称の死についてしっかりと考えておくことが必要と思っています。

終末期ケアには多くの知識が必要ですが、知識以上に、死や生・いのちに対する考え・観念(死生観)を育むことが終末期ケアの提供者には大切と思っています。学生一人一人が死やいのちについて真剣に考えて、自身の死生観を育んでくれることを期待しています。

終末期の患者さん・ご家族から学ぶ

患者さんお一人お一人の人生が異なるように、十人十色の生きざま・死にざまがあります。良寛和尚さんの歌に「うらをみせおもてをみせて散るもみじ」というのがあります。裏も表もみせながら散っていく様子を見る中で、本当の(もみじの)姿、美しさ、尊さに気がつくのではないでしょうか。死を通して「いのち」とは何か、その美しさ、愛おしさ、尊さを実感できるのだと思います。

当たり前に続くと思っていた日常は、決して永遠に続くわけではないのです。必ず終わりが来るのです。死と接する中で、人は、今、ここにこうして生きていることへの感謝の念や周囲への感謝の気持ちに気づくことが多いように思います。人生のフィナーレ、大切な最期の瞬間に立ちあわせて頂くことで、看護者は多くのことを学ばせて頂くことができます。日頃、「患者さんは師である」と言いますが、まさに、患者さんはご自身の最期の姿を通じて、私達に「生きる」とは「いのち」とは何かを教えて下さっているのだと思います。二度とない出会いの場(一期一会)を大切にし、人生最期の貴重な時に、立ち会わせて頂けたことに感謝したいと思います。

人間のみが有限の時間を認識し、意味を求める存在だと言われています。死について考えることは、決して縁起の悪いことでも避けるべきことでもなく、自身の有限の時間を如何により良く生きるかを考えることに繋がると思います。看護職はまさに「いのち」と向き合う職種であり、貴重な多くの学びを得ることのできる尊い仕事です。看護師を目指す学生たちが看護師の仕事にやりがいと誇りをもち、自身の人生を豊かにしてくれることを願っています。

畿央大学健康科学部
看護医療学科　教授
河野 由美

震災から学ぶこと 自然環境といのちの問題

2011・3・11、この日は日本人にとって決して忘れてはいけない日となりました。それは大震災の犠牲者の鎮魂と、これからの日本の行く末を深く考えるという意味において。

東日本大震災

今年3月11日に発生したM9の大地震によって、東日本は未曾有の被害を受けました。日本のどこよりも避難訓練を重ねていたにも関わらず、多くの人々が津波の犠牲になりました。今も8千人もの人が行方不明で、こころが痛みます。

日本列島は世界でも有数の地震国であり火山国です。それは日本列島とその周辺で4つのプレートの境界がせめぎ合っているからです。このような国は世界でもまれで、多くの歪みがたまり、日本列島はいつどこで地震が起こってもおかしくはありません。また地盤がもろい上に雨も多いため、自然災害も多く発生します。

東北の太平洋沿岸では、平安時代に今回と同じ規模の津波が襲っていたという調査結果が、2009年に発表されました。もう少し早く、謙虚にこの結果を受け止め、沿岸部や原発に対策がなされていれば、犠牲はこれほどにはならなかったはずです。

釜石の奇跡

釜石市では児童生徒約3千人が一人の犠牲者も出さず避難できました。これは実践的な生きた防災教育がおこなわれており、子どもたちもそれを身につけていたことが、自主的な避難行動につながった結果です。児童生徒たちは津波の浸水域を想定し、避難路を普段から自分たちで確認していました。実際に津波が来た時、想定外の事態を想定し、避難場所よりも、より高台へのすばやい避難行動が命を守りました。

日本の防災教育は日が浅く、また日本の自然環境についても、どれだけの日本人が知っているでしょうか？ いざというときには、自分で自分の身を守らなければいけません。災害に関しては、まず自助があり、つぎに地域住民が助け合う共助があり、最後に公助ありきなのです。今回の災害でも、高い防災意識と自助の精神が多くのいのちを救いました。

災害ボランティア

5月、震災から50日が過ぎた日、私は岩手県遠野市に災害ボランティアに行きました。全国の小学生から高齢者までの、志をもった数百人の人たちが集まっていました。ボランティアセンターの運営も若い人を中心に行われており、なんとか被災地の力になろうという雰囲気がみなぎっていました。

被災地は目を疑わんばかりの光景が広がっており、津波の破壊力の恐ろしさをひしひしと感じました。日常の風景とは、まるでかけ離れたもので、戦時中の焼け野原の風景とだぶり、悲しみと無力感と緊張感が複雑に入り交じったような印象をうけました。それは、現場に行ってみて、はじめて肌で感じられるものでした。

私は陸前高田でたんぼのがれき撤去、釜石で個人商店の泥だしと清掃をお手伝いしました。陸前高田の現場は海岸線から800mほど離れ、しかも標高25mもある谷部の高台です。実際行ってみると、遥か彼方に海が見え、こんなところまで津波が来たなんてとても信じられませんでした。しかし、目の前のたんぼには不自然に2階部分だけの家がのり、壊れた車もありました。海岸近くから流されてきたものです。がれきの中には木材に混じって、ありとあらゆる生活そのものが流されていました。皆、言葉少なく悲しみをこらえながら片付けていきました。

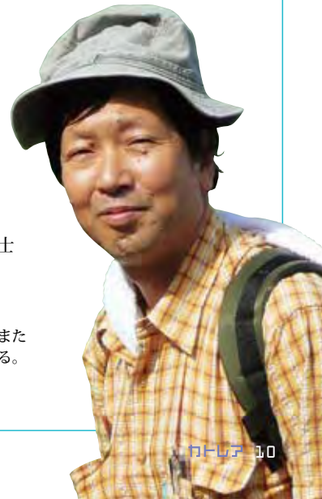
「フクシマ」原発震災

もうひとつの不幸な震災が原発事故です。福島第一原発の事故は、まだまだ収束の見込みが立ちません。放射線が福島県を中心に広がっており、日本人が自ら、最悪ともいえる環境汚染を引きおこしてしまいました。政府の対応は後手後手にまわり、ふるさとを追われた避難者が帰れるめどは立っていません。また、多くの福島の子どもたちは年間20ミリシーベルトという、高すぎる許容値を設定され、放射線という見えない脅威にさらされながら、自由を奪われています。原発はCO_2を排出しない、クリーンなエネルギーと宣伝されてきました。何がクリーンなのでしょうか？

日本は国策として原子力発電を推進してきました。五重の壁によって放射線がもれることはないとし、全電源喪失という今回のような事故は起こりえないとして想定しませんでした。最悪の事故に対する対策もなく、住民の避難訓練もおこなわれていませんでした。原発も機械である以上、絶対安全などあり得ないということを、国も事業者である東電も忘れてしまっていたのでしょうか。悔やまれるのは原子力安全基盤機構が2008年に、全電源喪失によってメルトダウンが発生することを予測したにも関わらず、まったくそれが活かされなかったことです。「フクシマ」は防げなかった原発事故の代名詞として、その名を世界中の人の記憶にとどめることになるでしょう。

国民の多くは原発についてそれほど真剣に考えることもなく、電気を浪費してきたことは否めません。地盤が悪く、震災を今後も受け続ける日本列島で原発は必要なのでしょうか。もう一度真剣に考え直す必要があります。

科学技術を過信し、自然の脅威を忘れた結果、多くのいのちが奪われ、危険にさらされているのです。今回われわれは、多くの教訓を得ました。東日本の現場から謙虚に学び、それを後々まで伝えていくことが大切です。安全で安心な日本を子孫に残すために。



畿央大学　非常勤講師、　理学博士
専門：地球科学、防災地質

小山 彰

日本全国の災害現場を視察、調査し、また最近は環境問題の現場を多く訪れている。

患者様の立場で考えた医療を心がけています

佐藤 秀幸 さん
社会医療法人 黎明会　北出病院勤務
畿央大学健康科学部理学療法学科
2010年3月卒業

僕は、平成22年3月に畿央大学を卒業し、現在は和歌山県にある北出病院で理学療法士として勤務しています。毎日たくさんの人と出会い、たくさんのことを学べる日々を送っています。

臨床二年目であり、まだまだ業務、勉強に追われる日々です。忙しいですが、非常に充実した社会人生活であり、楽しい日々を過ごしています。

理学療法士として、患者様と関わることはその患者様の人生にたずさわることであり、非常に責任がある仕事だと僕は思います。最善のケアを行うためにも日々の勉強は必須であり、また患者様や患者様の家族の立場になって、物事を考えていくことが大切であることを臨床で再認識しました。

大学の授業では、医学的な知識以外にも理学療法士としての在り方も学ぶことができました。また同じ目標を持ったたくさんの同期達と切磋琢磨し、関わりあえたことは僕にとって今でも大きな財産であり、現在も元気に頑張ることができています。

剣道を通じて出会ったこと

日下 あづさ さん
天理大学　文学部国文学国語学科
関西中央高等学校2011年3月卒業

関西中央高校在学中は、剣道部に所属し日々朝夕の練習に迷い、慣れない高校生活に悩み、落ち込み…。しかし、いつも先輩や仲間、先生方が励まし、声をかけ、手を差し延べて下さいました。

当時、三人だった女子剣道部は、今では八人になり結果も残してくれています。一緒に戦ってきた仲間であり、素晴らしい後輩を持てた私は、とても幸せです。

関西中央高校で教わった「思いやりの心」「自分の能力を精一杯努力して磨くこと」「心から感動できる人になること」を今も心に置き、大学でも楽しく過ごしております。

大学では、国文学で「教職課程」を選択しました。三年間先生方が熱心に指導してくださったこと、私達に一生懸命に携わっていただいたこと等を思い出し、先生方の素晴らしさを改めて実感しています。

「辛い中でこそ得る達成感」の大切さを教えていただき、いつも本気で叱り、時には一緒に喜んでくださった顧問の先生。そして、支え合ってきた仲間たち。このような高校生活で得た大切な体験を、この先の私自身の力とし、充実した大学生活を送っていきたいと思っています。

個性を伸ばす教育

横山 和代 さん
畿央大学付属幼稚園　さくら組園児
横山綾香ちゃん保護者

天真爛漫で活発な娘は、幼稚園が大好きで、園での楽しい出来事などを目をキラキラさせながら、いつも話してくれます。

入園当初の娘の絵は、一面が青一色で塗られたお粗末なものでしたが、先生は「上手にぬれたね」と褒めて、お部屋に飾ってくださいました。褒められたのがうれしかったのでしょう、次第に様々な色を使って、紙いっぱいにのびのびと描くことができるようになり、今ではお絵描きが大好きになりました。個性を大切にし、伸ばして下さった先生方には、感謝の気持ちでいっぱいです。絵の変化を通して娘の成長を感じることができ、娘が付属幼稚園の園児であることを改めて誇りに思いました。

付属幼稚園ならではの異年齢の子ども同士の関わり、大学・高校との交流を通して様々な体験を重ね、たくましく成長する姿をこれからも見守っていきたいと思います。

私自身も役員活動を通じて、付属幼稚園との関わりが持てることを嬉しく思っています。

早いもので、来春には卒園を迎えますが、付属幼稚園で過ごした三年間が、娘や私にとって一生の思い出になることは間違いないでしょう。

自然に優しい奈良蚊帳の伝統を今に伝えて

丸山繊維産業株式会社　代表取締役
丸山 欽也 さん

当社は、奈良県天理市で奈良蚊帳生地の一貫生産（経糸整経から製織・染色・仕上加工まで）を県で唯一行っています。奈良は古くから奈良蚊帳や布巾、襖地の生産地でしたが、時代の移り変わりで、弊社では主に農業用資材としての寒冷紗やトヨタ向け自動車シート用難燃補強基布（吊り布）を生産しています。

また、需要開拓のため各種ラッピング用品や文具生活雑貨染色製品を自社開発して販売するアンテナショップ〝ねっとわーくぎゃらりーならっぷ〟を奈良市もちいどの商店街・ならまちの一角に開設しています。

今春から畿央大学人間環境デザイン学科とコラボで奈良蚊帳や寒冷紗の新用途開発をしています。同学科では三年前から吉野山まちづくり協議会と連携して歴史的文化財が多く景観整備の町並みづくりをされており、今回は、桜で有名な吉野山にある旅館や商店の軒先をいろいろな色とデザインを施した〝エコカーテン〟で彩る社会実験をスタートさせました。

畿央大学の学生さんとは何度か吉野山でご一緒しましたがみなさん真面目で、いいものを創ろうとする熱意と粘り強さには感心します。奈良の伝統を伝える奈良蚊帳の新しい需要開拓に邁進する日々ですが、畿央大学とは、これからも良い関係を築いていきたいと思っています。

私の先生 私の教え子

冬木学園では、豊かな知識や優れた技術を教えるだけではなく、心を通わせ、人としての生き方を伝えていく教育をめざしています。冬木学園各校で学んだ、学んでいる教え子と教員との交換メッセージをご紹介します。

池田 雅代 先生［畿央大学教育学部現代教育学科　准教授］

現在の私の基盤です

植田 和美 さん
社会福祉法人 阪手保育園勤務／畿央大学短期大学部２００５年卒業

ピアノを弾くたびに池田先生とのピアノレッスンを思い出します。事前に練習していても、なぜか先生の前になると緊張してか失敗してしまい、エヘッと笑うと、すぐに「はいもう一回」と…何回言われたでしょうか(笑)。そして、なかなか合格がもらえなかった分、合格を頂いたときはどれほど嬉しかったか…、あの時の私の様子で伝わったと思います。

見た目は少しクールな先生でしたが、研究室にお邪魔した時は、よく私たちの言動にツッコんで、笑っておられましたよね。また畿央祭の模擬店などクラスの企画については私たち学生の要望を叶えて、いつも温かく見守って下さいました。先生や友達と過ごした二年間は今の私につながる大切な大切な時間です。改めて今の気持ちを伝えたいです。『先生本当にありがとうございました。卒業して七年、子どもたちに囲まれて楽しい毎日を過ごしています。』

Comment

植田さんと聞いて真っ先に思い浮かぶのは植田さんのとびっきりの笑顔です。周りの友達もみんな明るく、私はその笑顔で元気をもらっていました。なのでピアノのレッスンでそんなに緊張していたなんて意外でした(笑)。今は子どもたちから慕われる素敵な先生になっておられることでしょう。卒業の時、みんなが書いてくれた寄せ書きの色紙、大切にしています。これからも体に気をつけて子どもたちと関わっていってください。

金内 雅夫 先生［畿央大学健康科学部健康栄養学科　教授］

出会い

黒木 有加里 さん
夙川学院短期大学家政学科 特任講師勤務／畿央大学大学院博士後期課程在籍

多くの職種の方との"出会い"があり、管理栄養士の職域の幅広さと奥深さを実感しました。中でも、刺激を受けたのは糖尿病専門クリニックで栄養指導をはじめとする新しい業務に携わったことです。知識の向上とともに、違った視点からのスキルアップの必要性を感じたので、大学院で研究し、より専門的な知識を得ようと考えました。

大学のホームページで金内先生の研究実績を拝見し、早速メールでご相談したところ、快く面会、助言をしてくださいました。それを機に私は新たな目標に向かってスタートを切ることになりました。

金内先生は私の経験や考え方を尊重し、指導をしてくださいます。学業と仕事の両立が負担なく続けられるのは、金内先生と研究先のスタッフの方々の理解と協力があってのことです。

そして、研究先で調査に協力してくださる方も含め、この"出会い"を大切に、今後の糧になるような論文を作成したいと思います。

Comment

本学の大学院博士課程は世界に向けて発信できる研究を目指しています。黒木さんはとても努力家で研究フィールドへ毎回４時間かけて往復し、熱心に課題に取り組まれ、研究先スタッフとの連携も抜群です。まもなく調査データの収集も完了すると思いますが、クオリティーの高い成果がでるものと大いに期待しています。

東 実千代 先生［畿央大学健康科学部人間環境デザイン学科　准教授］

デザインを意識した介護

岡本 敦司 さん
園田 恵子 さん
松井 佐愛子 さん
ワタミの介護株式会社勤務／人間環境デザイン学科 ２００８年卒業

卒業後もう三年になります。当時は四回生になってからゼミが始まっていたため、研究期間は一年しかなく、とても寂しかった記憶があります。ゼミで何をするべきか分からず途方に暮れ、内容が決まってもなかなか研究が進まない自分達を東先生は優しく指導してくださいました。また、卒業論文や製作も三人で協力しあえるようになったのも先生のおかげです。

介護施設に就職して、授業やゼミでやってきたことが活かしづらいと思っていましたが、高齢者と向き合う場合、住環境や住空間というものを意識することが多くあり、学んだ内容が役立つ場面も多々ありました。老人ホームは機能やデザインで選ばれる方も多く、デザインを重視しすぎる傾向もあるようです。介護施設の計画に携わる人へ利用者さんだけでなく、働く職員の目線からのデザインを提案していきたいです。

Comment

３人は私が本学に赴任した年のゼミ生でした。当時は1回生担任業務と授業準備で自転車操業状態。5月も終わる頃、「私たちのゼミ、いつ始まりますか?」と尋ねられて大慌て!そんな頼りない私の下で、互いの研究の進捗を気遣いながら論文を執筆する姿が印象的でした。仲の良かった3人は、在学中にホームヘルパーや福祉住環境コーディネーターの資格を取得し、就職先も一緒。卒業後も職場での奮闘ぶりを定期的に報告してくれてありがとう。皆さんの成長と活躍は私の支えになっています。

土門 崇人 先生［関西中央高等学校　2年1組担任　英語科担当］

義理・人情・漢(男)らしく

木村 亮一 さん
関西中央高等学校普通科 アスリートコース(2年1組)在籍

土門先生は、一年生の時から担任をしてくださっています。クラスでは、とにかく厳しく、初めは正直「面倒くさい」先生でした。服装のことや紙パックをロッカーの上に置いていると激怒されました。でも土門先生は、私たちのことを思って叱っていただくことが多いです。

私は、この関西中央高校にアスリートとして、いろいろなことを学びにきました。野球のことを中心に相談に乗っていただくことがあります。そのときも、土門先生は、私たちの目線に立って話を聞いてくださっていて、とても頼りがいがあって、いつも助けていただきます。

面倒くさいけど、とても頼りがいのある土門先生。常に元気いっぱいのアスリートたちと個性いっぱいのスタンダードたちの一組。その一組土門クラスとして、いつも「義理・人情・漢(男)らしく」を頭に入れ、少しずつ成長していきたいです。

※「漢」は、(名)男。男に対する呼び名【漢字源より】

Comment

「野球しに学校へ来たんだろう?」との質問に、真っ直ぐな目で「ハイ!」と元気よく答えてくれた亮一くん。彼の持ち前の素直さで、左腕のエースとして背番号1を背負って欲しいと期待しながら毎日接しています。

「野球だけ頑張っても結果は出ない」「良い選手よりも良いヤツになりなさい」私がほぼ毎日言っている言葉です。めんどくさい担任ですが、めんどくさい事から何か学び取って欲しいと思っている毎日です。

冬木学園各校の主な行事（1月～6月）

畿央大学

1月
22日（土）理学療法特別講演会
23日（日）一般入試前期A日程
24日（月）一般入試前期B日程
30日（日）一般入試前期C日程

理学療法特別講演会

2月
3日（木）人権教育研修会
13日（日）プレ・エントランスセミナー
19日（土）［人間環境デザイン学科 卒業研究・作品展（ならまちセンター）］
20日（日）
19日（土）［ニューロリハビリテーションセミナー実践編］
20日（日）
25日（金）学生支援GP最終報告会

卒業研究・作品展

3月
10日（木）一般入試後期日程
15日（火）卒業式・卒業パーティー
16日（水）～21日（月）大学は美味しいフェア出展
27日（日）オープンキャンパス
30日（水）新入生プレイスメントテスト・キャンパス歓迎会

卒業式

大学は美味しいフェア

4月
4日（月）入学式
6日（水）～7日（木）新入生宿泊研修
16日（土）ボランティア・ビギナーズ・フェア2011

入学式

5月
15日（日）オープンキャンパス
21日（土）創立記念日
22日（日）畿桜会（同窓会）総会

畿桜会懇親会

6月
2日（木）・8日（水）・9日（木）禁煙啓発セミナー
4日（土）畿友会球技大会
12日（日）オープンキャンパス
15日（水）関西中央高校文化鑑賞会
18日（土）畿友会サマーフェスティバル
26日（日）FEPホール企画「オーケストラがやってくる 橿原交響楽団ファミリーコンサート」

FEPホール企画のオーケストラ

関西中央高等学校

1月
8日（土）～10日（月）近畿高校ソフトテニスインドア大会
15日（土）近畿選抜県予選（剣道）
21日（金）GTEC（英語技能試験）

近畿選抜県予選（剣道）

2月
6日（日）～7日（月）入学試験
12日（土）梅花高校チアリーディング部来校 演技披露
22日（火）3年ビジネスマナー表彰、送別式、蘭友会入会式
28日（月）

梅花高校チアリーディング部来校

3月
1日（火）卒業証書授与式
9日（水）表現・情報コース生徒発表会
19日（土）終業式、入学説明会

表現・情報コース発表会

4月
9日（土）第48回入学式
22日（金）～23日（土）1年生 フレッシュマン・トレーニング・キャンプ

入学式

フレッシュマン・トレーニング・キャンプ

5月
2日（月）スポーツテスト
21日（土）創立記念日
26日（木）第38回校内朗読コンテスト

校内朗読コンテスト

6月
1日（水）部活動激励会
10日（金）第1回漢字検定
15日（水）文化鑑賞会
22日（水）クリーンキャンペーン
24日（金）スポーツ大会
28日（火）GTEC（英語技能試験）

文化鑑賞会

畿央大学付属幼稚園

1月
7日（金）3学期始業式
12日（水）入園説明会

3学期始業式

2月
1日（火）お別れお作法参観（年長）
2日（水）豆まき
3日（木）保育参観（年少・年中）

豆まき

3月
5日（土）生活発表会
8日（火）バイキング給食
11日（金）ポン菓子作り
19日（土）第32回卒園式
24日（木）3学期終業式

生活発表会

4月
8日（金）1学期始業式・進級式
12日（火）第33回入園式
21日（木）保育参観
27日（水）新入園児歓迎会
28日（木）防火映画鑑賞（年中・年長）

新入園児歓迎会

5月
12日（木）保育参観・父母の会総会
23日（月）Kioオープンガーデン
26日（木）春の遠足（平成榛原子供のもり公園）

春の遠足

6月
2日（木）Kioオープンガーデン
4日（土）卒園児招待・蘭幼会
9日（木）園外保育（畿央大学）
19日（日）日曜家族参観
21日（火）Kioオープンガーデン
23日（木）プール開き

園外保育

●関西中央高等学校入試概要

課　　程　全日制（普通科）（共学）

募 集 人 員　特別進学コース――（推薦）（一般専願・一般併願）　**60名**
（畿央大学高大連携特別推薦制度有）
表現・情報コース――（推薦）（一般専願・一般併願）
スタンダードコース―（推薦）（一般専願・一般併願）
アスリートコース――（推薦）（一般専願）
140名
＊アスリートコースは野球・剣道・ソフトテニスに限ります。
＊特別進学コースを志願する者は、回し合格があります。

出 願 期 間　推薦および一般専願　**平成24年1月16日（月）**
一般併願　**平成24年1月17日（火）～1月19日（木）**
いずれも9：00～16：00（本校窓口）受付時に受験票を交付します。

試　験　日　**平成24年2月6（月）・7日（火）**

合 格 発 表　**平成24年2月8日（水）午後発送**

ファミリー入試制度（推薦・専願のみ）　以下のいずれかに該当する受験生は受験料・入学金を免除いたします。
・本人が旧桜井女子短期大学付属幼稚園の卒園生。
・家族（２親等以内）が本学園の幼稚園、高校、短大、大学の卒業生または在学生。

【オープンスクール】　クラブ演技、全体会（学校紹介、コース説明等）学校見学、クラブ見学、個別相談会
7月30日（土）13：00～、8月27日（土）13：00～

【入試説明会】　全体会（学校紹介、募集要項説明、コース別説明等）
学校見学、クラブ見学、個別相談会
10月8日（土）13：00～、11月5日（土）13：00～、
11月19日（土）13：00～（名張会場）、12月3日（土）13：00～

【入試対策説明会】　全体会（募集要項説明等）、科目別入試対策（模擬入試等）
クラブ見学、個別相談会
12/18（日）13：00～、12/23（金・祝）13：00～

●畿央大学付属幼稚園募集要項

募集人員　3年保育（3歳児 満3歳児を含む）60名
2年保育（4歳児）若干名
1年保育（5歳児）若干名

受付期日　平成23年7月1日（金）
午前8時30分より

出願方法　所定の入園願書に選考料3,000円を添えて提出してください。

入園許可　面接の上、入園許可を通知します。なお、面接の日時は願書受付後通知します。

Kioオープンガーデン

付属幼稚園では園の紹介と子育て支援を目的に、Kioオープンガーデンを実施しています。就園前のお子様と一緒にお気軽にご参加ください。詳細については、直接園にお問い合わせください。

8月2日（火）	体育の先生と水遊びをしましょう。
8月25日（木）	みんなと一緒に遊びを楽しみましょう。
10月14日（金）	英語の先生と英語で遊ぼう。
11月28日（月）	子ども成長・造形展を見学し、手作りで好きなものを作ろう。
1月17日（火）	通園バスに乗って出かけよう。

※8月2日、8月25日はプール遊びです。水着・水泳帽・タオルを持参してください。雨天時はホールで遊びます。

保育時間

「預かり保育」を実施しています。（月～金曜日の午後6時まで）常勤の教員により「預かり保育」を行い、保護者の子育て負担の軽減と支援を行います。夏期休業中の特別預かり保育も実施しています。

●2012年度　畿央大学入学試験概要

募集人員　（人）

学部	学科	定員	AO入試	公募推薦入試	一般入試	センター利用入試	社会人入試
健康科	理学療法	60	3	23	26	8	若干名
	看護医療	80	3	35	34	8	若干名
	健康栄養	70	3	31	29	7	若干名
	人間環境デザイン	45	3	19	18	5	若干名
教　育	現代教育	145	6	67	59	13	若干名

主な入学試験日程

試験区分		試験日	合格発表日
AO入試	1次選考	9月23日（金・祝）※Ⅰ・Ⅱ型は書類選考	9月29日（木）
	2次選考	10月9日（日）	10月15日（土）
公募推薦入試	A日程	11月12日（土）	11月21日（月）
	B日程	11月13日（日）	
	C日程	11月20日（日）	11月26日（土）
一般入試	前期A日程	1月23日（月）	1月31日（火）
	前期B日程	1月24日（火）	
	前期C日程	1月29日（日）	2月4日（土）
	中期日程	2月18日（土）	2月24日（金）
	後期日程	3月10日（土）	3月16日（金）
社会人入試		11月6日（日）	11月12日（土）
3年次編入学	前期日程	10月9日（日）	10月15日（土）
	後期日程	2月11日（土・祝）	2月17日（金）

※入学試験成績優秀者には奨学金制度があります。詳しくはお問い合わせください。

●2012年度　畿央大学大学院入学試験概要

募集人員　（人）

課程（修業年限）	研究分野	定員	試験区分 1期	試験区分 2期
修士課程（2年）	リハビリテーション・運動行動学、看護学、健康栄養学、環境デザイン学	20	15	5
博士後期課程（3年）	健康生命科学、健康支援科学	5	3	2

入学試験日程

試験区分	試験日	合格発表日
1期	9月23日（金・祝）	9月29日（木）
2期	2月11日（土・祝）	2月17日（金）

※入学試験成績優秀者には奨学金制度があります。詳しくはお問い合わせください。

OPEN CAMPUS 2011 Kio University
7/16（土）・7/17（日）・8/20（土）
8/21（日）・9/18（日）・10/2（日）
10/22（土）・10/23（日）・12/10（土）

9/18（日）・12/10（土）は入試対策講座開催
10/22（土）・23（日）は畿央祭も同時開催!!

日々変わり続ける畿央大学。オープンキャンパスでは、いちばん新しい畿央大学を体感していただくため、毎回さまざまなプログラムを用意してみなさんをお待ちしています。オープンキャンパスに参加して教員や大学生とふれ合う中で、畿央の魅力を感じてください。

畿央大学2011年度入試結果

長引く不況の影響で、資格の取れる大学が全国的に人気化しています。畿央大学でも2011年度入試は3年連続で志願者が増加しました。今年の特徴はすべての学科で志願者が大幅に増加したことで、「就職に強い畿央大学」として一般に評価されたことが要因と思われます。

公募推薦入試で大幅な増加となったのは健康栄養学科の40％増、現代教育学科の70％増ですが、他の3学科でも志願者は増加しています。特に理学療法学科や看護医療学科では、人気の上昇で入学手続率が高くなると予想されたために、合格者数は絞り込まれて倍率は大きくアップしました。

一般入試ではさらに受験生が集中。志願者の増加数で関西では近畿大学に次いで2位、全国でも10位となりました。中でも人間環境デザイン学科と現代教育学科の増加が著しく、いずれも昨年の2倍の志願者を集めました。その他の学科でも昨年を大きく上回る志願者数となっています。

また、例年だと一般入試中期日程以降は志願者の減少が目立つのですが、今年は全国的な私立大学の難化を背景に、最後まで増加傾向は続きました。例年以上に第一志望の大学や学部、学科にこだわった受験生が多かったようです。

2012年度入試展望

新年度募集に向けての取り組みがスタートしています。3月末のオープンキャンパスから始まって、すでに5月、6月と3回のオープンキャンパスを実施していますが、ここまでは昨年を3割以上上回る参加者数となっています。昨年の大幅な志願者数の増加や、倍率アップとなったことへの反動は予想されるものの、出口の見えない不況に東日本大震災の影響も重なって、当分は資格志向傾向が続きそうで、畿央大学は2012年入試でも注目を集めそうです。

畿央大学大学院 2011年度入試結果と2012年度展望

5年目となった修士課程の入試では、定員20名に対して昨年を大きく上回る27名の入学者がありました。本学卒業生の他、社会人の方の出願が多く、また分野もリハビリテーション、看護学、健康栄養学と多岐にわたって、優秀な入学者をむかえることができました。特に2011年度からの開講となった看護学分野には8名の入学者がありました。

一方、3年目の博士後期課程は昨年より減ったものの、3年連続で定員を上回る6名の入学者をむかえることができました。

臨床の現場では、最先端の知識と技術を身につけたハイレベルな専門家が今まで以上に必要とされています。課題解決型の研究に取り組む畿央大学の大学院は、2012年度入試においても志願者を集めそうです。

「平成23年度畿桜会総会」を開催しました。

「畿桜会」は、畿央大学・畿央大学短期大学部・桜井女子短期大学の卒業生約8600人のための同窓会組織です。

5月22日(日)畿央大学食堂棟にて平成23年度畿桜会総会を行いました。

同窓会の総会と懇親会は毎年行われ、卒業生および教職員が旧交を温める機会になっています。

午前10時から役員会を開催しました。

同期や学科のつながりを活性化することを目的に『20名以上が集まる同窓会に4万円の補助を行うこと』が決定しました。畿桜会が同窓生の集まりを金銭面からもバックアップします。ただし、事前申請、集合写真撮影の提供、同窓会会報「畿桜会NEWS」への投稿等の条件が必要になります。また昨年度から、学科や仲間同士で行う同窓会の案内(封筒・郵送料の補助および発送業務代行)も行っています。是非ご活用下さい!(詳細は畿央大学企画部まで)

午前11時からは食堂棟地階で同窓生43名、教職員28名の合計71名参加のもと、同窓会総会が開催されました。

また、記念講演として、理学療法学科准教授の福本貴彦先生に「若さを保つためのトレーニング～トップアスリートも行っている脳トレ筋トレ～」をテーマにお話をしていただきました。ヒトの顔にはたくさんの筋肉があり、それらを鍛えるトレーニングが若さにつながると実演を交えてお話しいただきました。

午後からは、懇親会が盛大にスタート。懐かしい顔ぶれに、卒業生と教職員が一体となって笑顔の花が咲きました。

気軽に母校に戻ってこられるこの一体感が、畿桜会ならではの特長だと改めて実感しました。

恒例のビンゴ大会では、今春に教育学部を卒業し吉本興業で芸人生活をスタートした「ブリの白子」こと國松恵さんが司会を担当し、懇親会を盛り上げていただきました。

卒業生の皆さん、今後も畿桜会の行事に是非ご参加ください!

「平成23年度蘭友会総会」を開催しました。

「蘭友会」は、桜井女子高等学校・関西中央高等学校の卒業生約9800人のための同窓会組織です。

4月17日(日)に第45回蘭友会総会を関西中央高等学校メモリアルホールにて行いました。平成20年から卒業生が還暦を迎えられるようになりました。蘭友会では、毎年還暦を迎えられる卒業生の方に蘭友会総会をお知らせし、また参加していただいた方には記念品をお贈りしています。今年は第4回の卒業生の方々30名にご参加いただきました。

理事長先生はじめ、還暦を迎えられた卒業生の恩師、職員の先生、会員からは、若い方もたくさん参加していただき賑やかな総会となりました。

第一部は、蘭友会総会で、平成22年度会計報告・23年度の予算案を審議。その後、毎年恒例のアトラクションを行いました。今年は、コミカル・ステージ中西敏明先生による、「ウクレレ漫談と腹話術」をしていただきました。中西敏明先生は、マルチタレントぶりを発揮し各地で公演をされています。ウクレレを弾きながら歌って、また、腹話術で、卒業生に話かけながら一緒に楽しくトークをしていただきました。総会に参加していただいた卒業生の皆様には、笑いのたえない楽しいアトラクションでした。

第二部は、カトレアホールにて懇親会を開催しました。懇親会では、食事をしながら恒例のビンゴゲームなどで大いに楽しみ、また、懐かしい思い出話に華がさき楽しいひと時を過ごすことができました。これからも、毎年、還暦の卒業生の方には記念品をお贈りしていく予定です。また、新しい高校の卒業生も迎え入れ、年齢幅の広い同窓会となっていくことから、どなたでも楽しんでいただける蘭友会総会にしていきたいと役員一同話あっています。

来年度も多数の皆様のご参加お待ちしております。

(蘭友会総会は、毎年4月の第3日曜日です。)

畿央祭『同窓会サロン』

日　時▶2011年10月22日(土)、23日(日)
10:00～17:00
会　場▶畿央大学
C棟1階 C106ゼミ室(予定)

サロンで受付して頂くと特典を用意しています!!

毎年、畿央祭にあわせて開催する『同窓会サロン』。
昨年は186名もの卒業生にご来場いただき、懐かしの先生方との再会など、楽しいひと時を過ごしました。
新企画「ガラガラ抽選会」も大好評でした。
もちろん今年も開催します!
同窓生の憩いの場として、お茶タイムにご利用ください。懐かしの写真やアルバムも展示します。

理学療法学科同窓会特別講演会(予告)

日　時▶2012年1月下旬から2月上旬開催予定
13:30～受付　14:00～16:00
会　場▶畿央大学　冬木記念ホール
テーマ▶代謝系理学療法学の可能性(仮)
～健康増進・疾病予防・再発予防の観点から～
講　師▶畿央大学健康科学部理学療法学科助教
松本 大輔 先生

この講演会は、畿央大学理学療法学科卒業生のリカレント教育(卒業後も幅広い知識を養う)を目的として行うものですが、一般の方(主に理学療法を専門とされている方)にも受講いただく予定です。5回目となる今回は、畿央大学の松本大輔先生に講演していただきます。松本先生は2008(平成20)年に本学に就任されましたので、理学療法学科1、2期生にとっては初めて教えていただくことになります。もちろん他学部の卒業生の受講も大歓迎です。

私学の経営状態は分かりやすく社会に公開することが求められています。本学園では毎年ホームページで財務諸表を公開していますが、今号の広報誌「カトレア」では平成22年度決算の状況について報告をさせて頂きます。

平成22年度事業と決算の報告

平成23年5月31日の学校法人冬木学園理事会・評議員会において、平成22年度の事業報告と決算が審議・承認されました。それに先立っての監事監査においても業務および財産の状況は適切であると認められ、冬木学園の学校法人としての健全な経営状況が確認されました。

22年度末の学生・生徒総数は2135人で前年度同日比103人の増加。看護医療学科が開設3年目、大学院博士後期課程が2年目を迎えたことがその要因で、学生生徒等納付金の増加に結び付いています。また畿央大学の志願者数前年比155%という募集状況を反映して、検定料収入も大幅に増加しました。それに対して大学の私学補助額の減少が目立っています。

支出についてみると、すべての項目で昨年度より減少しているのが特色です。平成21年度は高校校舎の取り壊しやその除却があり、その経費がかさんだことと資産処分差額は消費支出として計上されるため、帰属収入と消費支出の差は2300万円ほどの収入超過でした。平成22年度についてはその差が約5億円の収入超過となっています。これは、平成22年度は施設設備に関する大きな投資が無かったことと収入が増えたことによるものです。また人件費比率をはじめとする財務分析の数字も非常に良い内容になっています。

今後、学生・生徒数を現状通り確保し続けることができるなら安定的な経営が可能であることが証明されたわけですが、教育機関としての魅力をさらに増していかなければ、厳しい競争に打ち勝つことができないことも確かです。建学の精神にのっとり、時代の変化を見据えた将来計画を持ち、取り組んでいくことが求められています。

■平成22年度　冬木学園消費収支計算書

学生生徒等納付金
大学及び高校、幼稚園の入学金や授業料、教育充実費等です。

補助金
大学に交付される国庫補助金と高校・幼稚園に県から交付される補助金がメインです。GPによる補助金も含みます。

資産運用収入
銀行預金の利息がメインです。

雑収入
退職金財団からの交付金や科研費の間接経費等がここに計上されます。

人件費
教員や職員の給与がメインで、各種手当、社会保険料、役員報酬などを含みます。

教育研究経費
授業・実習等の教育に係る経費、研究活動に係る経費です。奨学金もこれに含まれます。

管理経費
法人業務等の管理運営に必要な経費、また学生・生徒募集活動や募集広報の経費を示しています。

収入の部　（単位：千円 四捨五入）

科目	H22決算額
学生生徒等納付金	2,479,211
手数料	170,040
寄付金	59,182
補助金	503,922
資産運用収入	50,771
資産売却差額	0
事業収入	32,907
雑収入	40,746
帰属収入合計	3,336,779
基本金組入額合計	-172,858
消費収入の部合計	3,163,921

支出の部

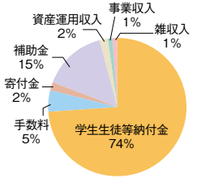
科目	H22決算額
人件費	1,607,150
教育研究経費	963,009
管理経費	268,619
資産処分差額	39
消費支出の部　合計	2,839,069
当年度　消費収入超過額	324,852
前年度繰越　消費収入超過額	2,534,650
基本金取崩額	0
翌年度繰越　消費収入超過額	2,859,502
帰属収入－消費収入	497,710

手数料
この多くは入学試験の検定料です。

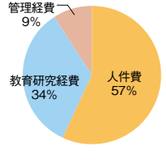
寄付金
保護者の後援会による助成、科研費によって購入した図書・備品の現物寄付を含みます。

事業収入
大学の受託事業、女子借り上げマンション家賃、高校購買の売上などです。

基本金組入額
学校法人がその活動に必要な資産を継続的に保持するために、帰属収入から基本金に組み入れる金額を示します。固定資産をあらわす1号基本金、奨学基金などの3号基本金、常時保持すべき運転資金にあてる4号基本金等があります。



帰属収入の内訳



消費支出の内訳

冬木学園の資産状況とその評価

平成23年3月31日段階の冬木学園の資産と負債、基本金等の状況は「貸借対照表」の通りです。私学の財政状況を示す主な指標は「財務指標」にあるように全国の大学法人（医歯系法人を除く）の平均を上回り、とりわけ本学園の自己資金構成比率と総負債比率は、私学平均と比較してともに7・2ポイントの差があり、非常に健全な状況にあるといえます。

■平成22年度　貸借対照表（平成23年3月31日現在）

（単位千円）
※千円以下切捨のため、合計に差異のある部分がある。

資産の部

科　目	本年度末	前年度末	増　減
土地	4,895,609	4,895,609	0
建物	5,731,158	5,896,126	-164,968
構築物	467,866	508,517	-40,651
教育研究用機器備品	749,279	777,398	-28,119
その他の機器備品	25,436	24,829	607
図書	213,693	197,929	15,764
車輌	3,201	4,728	-1,527
その他の固定資産	1,821,408	1,820,468	940
固定資産　計	13,907,654	14,125,606	-217,951
現金預金	4,523,136	3,591,427	931,709
その他の流動資産	1,306,855	1,482,829	-175,974
流動資産　計	5,829,992	5,074,256	755,736
資産の部合計	19,737,646	19,199,862	537,784

負債の部

退職給与引当金	258,863	259,715	-852
長期未払金	31,653	13,783	17,870
固定負債　計	290,517	273,499	17,018
未払金	94,041	62,215	31,826
前受金	711,776	690,339	21,437
預り金	81,596	111,802	-30,206
流動負債　計	887,413	864,357	23,056
負債の部合計	1,177,931	1,137,856	40,074

基本金の部

第１号基本金	15,333,067	15,185,149	147,918
第３号基本金	144,146	143,206	940
第４号基本金	223,000	199,000	24,000
基本金の部合計	15,700,213	15,527,355	172,857

消費収支差額の部

翌年度繰越消費収入超過額	2,859,502	2,534,650	324,852
消費収支差額の部　合計	2,859,502	2,534,650	324,852
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部　合計	19,737,646	19,199,862	537,784

■財務分析表

指　標	計算式	冬木学園		私学平均※	望ましい傾向
		22年度	21年度	21年度	
人件費比率	人件費/帰属収入	48.2%	51.7%	52.6%	低い値が良い
教育研究経費比率	教育研究経費/帰属収入	28.9%	34.0%	30.9%	高い値が良い
管理経費比率	管理経費/帰属収入	8.1%	8.6%	10.3%	低い値が良い
自己資金構成比率	自己資金/総資金	94.0%	94.1%	86.8%	高い値が良い
総負債比率	総負債/総資産	6.0%	5.9%	13.2%	低い値が良い

※私学平均は医歯系法人を除く大学法人の平均

冬木学園へのご支援のお願い

学校法人冬木学園は、「徳をのばす、知をみがく、美をつくる」という建学の精神のもとにたゆまぬ教育活動を行ってまいりました。現在は幼稚園、高校、大学、大学院を有し、昨今の厳しい教育環境のなかでも本学園への社会的評価と期待は年々高まっています。

これからも学園の評価を更に高め、社会のニーズに応えるために、教育・研究活動の充実や学生・生徒への奨学金制度の充実などをはかってまいります。つきましては、本学園の建学の精神に賛同しご協力頂ける皆様方に寄付金をお願い致したく、ご案内申し上げます。

◎寄付のお申込方法

法人事務局総務部（担当：植村・横山）にお問い合わせ下さい。

TEL 0745-54-1603

E-mail soumu@kio.ac.jp

◎寄付金の控除

冬木学園は特定公益増進法人に指定されていますので、個人の皆様からのご寄付については、寄付金から5千円を差し引いた金額が所得額から控除できます（所得の40%以内）。